



よくきたのっし!

教育長のつぶやき

No.79

2022.10/7

会の質が大きく変わりました

昨夜行われた「みんなで学校を創ろう!」第4回は27名の参加がありました。場所が変わったり保育園の行事前で参加者は減ったりしたので、30行けばいいだろうと予想していたのでいい線だったのかもしれませんが。(村民の1.62%でした)ただ、今後の話し合いにとっては今までの中で一番大切な説明の機会だったので、今後に与える影響も心配になっています。

また、内容もかなりハードで盛りだくさん。

参加者の心にどのように映ったのでしょうか。以下、昨日の感想の一部分です…。



「変化が大き過ぎて戸惑っている」「すごくドキドキしています。産みの苦しみの中に入りました」「北信小・東部小と統合したときも親と子が混乱し精神的にとっても大変だったから、新たな仕組みの学校になった場合のケアが必要。変革の時に係る家庭の理解が得られるか。今保育園小学校に通っている保護者にワークショップに参加してもらえるといいですね。曜日を変えた方がいいのでは」「大変興味深い話で面白かった。実現はなかなか難しいと思っていましたが、ハードルはそれほど高くないと感じました」「子ども主体の学びの大切さを改めて感じました」「一段と悩み、期待もふくらみ真剣に子どもたちのことを考えたいと思いました」「新たな知見が加わり、村民一同大いに悩み、討論してまさに“本丸”に入ってきたのだと思う。引き続き村民みんなで話し合っていくべきです」「今の体制がいつまで続くか、この教育に対しての熱量が変わった体制になっても引き継がれるのか、不安な部分があります」「とてもわかりやすく資料を提示していただきました」「紙の資料がほしかった。聞いただけでは頭に入りませんでした」「学校教育について考え方を改める必要がずいぶんあると感じました。孫たちのことを考え、勉強していかなければと思います」「変化が大き過ぎて戸惑っている。自分の頭の中ではよいことが多いが、他に理解が得られるか長いスパンが必要でかなりのパワーが要ると思う」「今の授業のままではだめなことは確実ですが、不安なのは…端的に言うと予測困難な時代を生きる力、自分のペースで寝転んで学ぶ子どもたち、とつながるのだろうか、ではないか。本当に今日の話のような学校の子どもたちが将来強く生きていく力をつけられるのか、今少しでも先に進んでいる学校の卒業生たちの姿を見たいのではないかと思います」「今の教育がここまで多様になっているとは思いませんでした」

今の教育の流れや私立校など新たな取り組みを紹介し、皆さんも時代の変化や学校教育の大きな変化に気づいていただきました。それと共にこれまでの話し合いのレベルとはかなり違うぞ!といった意識の変化も感じられます。今までの感想とは確実に違った内容に変化してきました。よく話し合いで「総論賛成、各論反対」という言葉がありますが、いよいよそんな雰囲気も出て来たと感じますし、昨日の話から言葉は悪いですが、少し“怖じ気づいた・尻込みした”感じも受けています。



でもそれは当たり前のことで、当初から予想していました。二者択一ではなく、話し合いを進め様々な可能性を知り、自分たちで決める決断をするときには必ず生じるものです。しかも勝手に教育委員会が…とか行政が…ではなく、「みんなで～」という前書きが付いている会です。参加すればするほどその責任が参加者に今後益々重くのしかかって来ることだろうと思います。住民参加型ということはそういうことでもあるのだと言うことを昨日の会や感想からも強く感じました。「一番の当事者である子どもの意見や小学校保育園の保護者に聞いた方が…」という意見も久々に出てきました。今までの話し合いの根本を覆される心配も多分に含んでいます。どう思いますか?このタイミングですか?もう少し後ですか?この会は今までもオープンですが…。何をこの段階で保小の保護者に期待しての参加を求めますか?まだまだ悩みは続きそうです。でも保小の保護者にもたくさん参加してもらいたい気持ちは山々です。

昨日の説明でようやくスローガンづくりや、願う授業像をこれまで念入りにやってきたかがわかっていただけたのではないのでしょうか。今までは家の基礎工事でした。ここが大切だと思い時間もかけました。これからはいよいよ柱を建て、屋根を張り、壁をつけていく作業に進んでいくことになります。今回も遅くまでありがとうございました。第5回もよろしくお願いします。